

報道関係者各位

熊本県が認知症予防モデル事業補助金対象機器に認定 リハビリテーションマシン「ワニワニパニック RT」「ドキドキへび退治 RT」

株式会社バンダイナムコゲームス

社 長：鵜之澤 伸

本 社：東京都品川区東品川4-5-15

資本金：150億円

株式会社バンダイナムコゲームスが開発・販売するリハビリテーションマシン「ワニワニパニック RT」と「ドキドキへび退治 RT」が、2009年12月から熊本県が実施する認知症予防モデル事業の補助金対象機器に認定されました。

バンダイナムコゲームスのリハビリテーションマシンが、都道府県の実施する福祉事業の補助金対象になるのは今回が初めてです。

今回の補助金対象機器への認定は、バンダイナムコゲームスが提唱する“遊び”と“リハビリ”の融合が、「あそびReパーク」²の活動を通じて熊本県に認められたことによるもので、対象となる2機は、リハビリテーションプログラム『カラダあそび』の機器として活用されます。

バンダイナムコゲームスでは今後も、高齢者や障がいのある方が「遊ぶ」ことによって人生を楽しく豊かに過ごし、身体や心の活性化に繋がるリハビリテーションマシンの開発を行って参ります。

- 1 ゲームの要素を取り入れて、高齢者や障がいのある方が楽しみながら機能回復やトレーニング効果が得られることを目的としたゲーム機器です。2003年に発売した「ワニワニパニック RT」以降、「太鼓の達人 RT～日本の心～」や「ドキドキへび退治 RT」など、さまざまなゲーム機を取り揃えています。これまでに計300台以上を販売し、全国の介護施設や病院等に導入されています(2009年11月時点)。
- 2 「あそび」ながら介護予防事業を行う事業で、環境省 国立水俣病総合研究センター(熊本県水俣市)が平成18年度から実施している介護予防等在宅支援事業のひとつとして運営されています。「あそびリテーション」「じょぶんか!カラダ」「じょぶんかアタマ」「各種研修講話」「うまかっ!ハタケ」「音 リラックス」の6つの部門から構成されています。

【熊本県の認知症予防モデル事業とは】

熊本県の認知症予防モデル事業は、要支援認定者に対する通所型の介護予防サービスや、特定高齢者の介護予防事業において、環境省 国立水俣病総合研究センターの請負事業で、熊本県葦北郡芦北町の「社会福祉協議会」が運営する介護予防等在宅支援事業施設「あそび Re パーク」での取り組みを基に、“あそび”をキーワードに実施されるものです。

現在、「くわのみ荘デイサービスセンター」<(福)青山会>、「介護老人保健施設 フォレスト熊本」<(財)杏仁会>、「リハビリ・デイサービスセンターしん」<(同)杉野コンディショニングセンター>の3施設での実施が予定されています。

ワニワニパニック RT (2003年12月～)

次々に出現するワニをハンマーで叩く人気アーケードゲーム「ワニワニパニック」をリハビリ向けに改造した機器です。腕の筋肉や握力の弱い方でも楽しめるように、ハンマーを軽くし、形状を円筒形にしてあります。また、筐体下部を車椅子でもアプローチしやすい形状に改造しています。腕の筋力トレーニングや反射神経、立位バランスの保持、視野を広げるトレーニングなどにも利用可能です。



(C)NBGI

ドキドキへび退治 RT (2006年12月～)

専用の椅子に座り、軽快な音と共に出現する4匹のへびを踏みつけて得点を競うゲームです。自分のペースでプレイできる仕様となっているので、下肢を動かさづらい方でも楽しみながら下肢の筋力強化、敏捷性の向上が図れます。



(C)NBGI



「あそび Re パーク」(葦北郡芦北町湯浦)での使用風景

プレスリリースの情報は、発表日現在のものです。発表後予告なしに内容が変更されることがあります。あらかじめご了承ください。
著作権表記中の(C)は、 の中にCの表記をしていただきますようお願い致します。

以上